



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり3本

2月22日号（301号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

## 柿から見た秋田の景色

22日(日)=1、3面



迫る

今週は人口減とクマ出没に悩む秋田で暮らす柿木崇誌さん（38）**写真II**を取り上げます。

柿木さんは民家の庭にある柿の実を収穫し、スムージーなどに加工して販売しています。「実家が空き家になってるので柿の実を収穫してほしい」などの依頼を受け、作業に向かいます。

近年、秋田では熊の出没が増加し、空き家の柿を狙って山から下りてくるケースも多々あります。

人口減↓空き家増加↓放置柿の増加↓熊の餌、というサイクルができてしまっています。柿木さんの作業も危険と隣り合わせ。柿木さんは「放置された柿は秋田が抱えるさまざまな問題の縮図です」と語ります。

## 『技能』とは 単純労働とは 亜細亜大教授 小井土彰宏氏

22日(日)=オピニオン面



外国人技能実習という制度（2027年4月に原則として廃止）があります。技能、あるいは単純労働力とはなんなのでしょう。亜細亜大国際関係学部教授の小井土彰宏さん**写真II**に聞きました。

そこが聞きたい

## 論点 どうなる？ 消費減税後の生活

25日(水)=オピニオン面



先の衆院選では多くの政党が消費減税や廃止を訴えたため、政策議論に欠けたとの指摘があります。それはどうしてなのでしょう。高市早苗首相**写真II**は先日の記者会見で、消費減税の実現に向けた議論を急ぐ考えを示しました。もしも消費減税が実現すれば、私たちの生活はどうなるのでしょうか。また国の財政や金融市場、社会保障政策にどのような影響が出る可能性があるのか。歴史社会学が専門の慶応大学、小井土英二教授など3人の有識者に聞きました。